

ゆっくり芽をだせ 萬歳っ子

旭市立萬歳小学校
学校だより 第8号
平成30年9月3日



二学期開始、明るい声が萬歳小に帰ってきました。

夏祭り 宵かがり 胸の高鳴りにあわせて 八月は夢花火 私の心は夏模様
目が覚めて 夢のあと 長い影が 夜にのびて 星屑の空へ
夢はいつも 思い出のあとさき 井上 陽水 「少年時代」



1990年にリリースされた「少年時代」。井上陽水最大のヒット曲で、夏の終わりに必ずラジオから流れる名曲です。美しい響きの日本語に誘われて、夢のような夏のひとときが、子ども時代のはかない思い出にオーバーラップしていきます。

8月の終わりになると決まって、「今は夢を見ていて、目を覚めすと今日はまだ夏休みの最初の日なのだ。」と叶わぬ空想を膨らませたものでした。胸の高鳴りを残して夏の思い出はまさに「夢花火」。そして今日9月3日は二学期の始まる日。明るい子どもたちの声が萬歳小に帰ってきました！

まだ続く残暑。「高温（酷暑）」による「中止・延期」も必要に応じて検討します。

例年より1か月早かった6月29日の梅雨明け。それから猛暑と台風に悩まされた今年の夏でした。温暖少雨が特色の瀬戸内地方を直撃した大雨土砂災害・連日の「観測史上最高気温」・東から西へ進む初めての台風、そして水温と気温が高いために水泳中止を検討するという初めての事態。まさにこれまでの常識や経験がそのままでは通用しない時代に突入したことを何度も実感した夏でした。

さすがに気温35℃に迫る日は、これからはもうないと思いますが、気温の高い状態はまだしばらくは続くようです。子どもたちの健康管理に十分配慮をして教育活動を行うよう努めて参ります。

また「雨天」で行事や学習活動の順延や中止があるように、猛暑や高温のために延期や中止をしなければならない場面も今後出てくるかと思えます。必要に応じて柔軟に対応して参りますので、よろしくご理解をお願いいたします。

9月は秋雨と台風の名月。今後予想される警戒を要する荒天時には、子どもたちの安全を最優先して対応できるよう学校と家庭の連携を引き続き図って参りましょう。



「実りの秋」。大きな収穫を目指して ～始業式校長講話より～

二学期は12月21日（金）までの76日間。「実りの秋」にふさわしい収穫の時季でもあります。

9月3日の始業式で、学校教育目標「大きく かしこく たくましく」に対応させながら、今学期、子どもたちががんばってもらいたい目標を4つ示しました。

1 仲間づくり：楽しい学級・楽しい学校にするために

いろいろな人と仲良く活動し、仲良しの輪を広げましょう。まず進んで元気にあいさつしましょう。

2 大きく：心を大きくするために

自分から進んで行動しましょう。進んで一步を踏み出します。そして最後までやり抜きましょう。

3 かしこく：かしこい子どもになるために

進んで発表をしましょう。感じたこと・考えたこと、想像したことをたくさん表現しましょう。

4 たくましく：丈夫な体をつくるために

めあてを持って体育活動に取り組み、得意なことはもっと得意に、苦手なことは少しでも上手になるように努力しましょう。

一人一人、やる気と自信を持って生活し、実り多い二学期にできることを期待します。

【特集】「いじめ」しない・させない・見逃さないために (千葉県「学校から発信する家庭教育プログラム」より)

1 小さな変化も見逃さず 早期発見のポイント

二学期が始まって、今朝お子さんはさわやかに登校のための身支度ができていますか？

普段仲よく過ごしている萬歳っ子ですが、人が二人集まればそこは社会。時には軋轢も力関係も生まれます。力関係が暴言や暴力、差別的な言動として表れたものが「いじめ」。何気ない一言が思わず相手の心を傷つけることがあるように、「いじめ」はいつでもどこにでも生じるのです。

学校でも子どもたちの言動や変化には十分注意はしておりますが、「いじめ」は大人の目の届きにくいところで起きやすい特性があります。長い76日の二学期はもちろん楽しいことばかりではないはず。努力がなかなか実らないこと・友達と人間関係でつまづくこと等々、子どもにとって試練となる場面にも出会うでしょう。しかし「いじめ」のような不当な心と体の痛みを伴う事態は早期発見・早期解決することが一番です。

ご家庭でお子さんに心配な様子や気になる姿が見られましたら、気軽に学校にご相談ください。

相談窓口担当 教頭 川口 敏夫

養護教諭 平野 佐夜美

特に次のような兆候にご注意くださるとともに、気になりましたらすぐにご相談下さい。

いじめの兆候に^{いちばやく}早く気付くチェックポイント

- 不審な電話がかかってきて、表情が暗くなったり、ため息をついたりする。
- 感情が不安定になり、□数が少なくなって部屋に閉じこもりがちになる。
- テレビゲーム等の持ち物を売り出したり家庭から金品の持ち出しが頻繁になったりする。
- 衣服の異常な汚れや、けがやあざが見られる。
- 布団から出たがらず、顔色がすぐれない。
- 食欲不振や腹痛、吐き気などを訴える。
- 突然、転校したい、学校に行きたくないなどと言います。
- 急に成績が落ちる。学習意欲がなくなる。
- 弟や妹などの弱者に暴力を振るうようになる。
- 学用品等を紛失したり壊されたりする。

(千葉県教育委員会 人権教育リーフレットより抜粋)

2 「いじめを」しない子どもに育てる

いじめは人間として絶対にしてはいけないことです。ご家庭でも折にふれ、話し合いをしてみてください。

自分も人も大切に思える子を育てるために、心を育て、心をつなぎましょう。子どもたちには、本当に「いじめは人間として恥ずべき行為である。」としっかり理解させましょう。「善悪の判断」「他人の痛みを感じる」「思いやり」などの心をしっかり育みましょう。

～保護者のためのセルフチェックポイント～

《悪いことは悪いとしつけていますか?》

- やってはいけないことや間違っただけはしっかり正している。
- 子どもに対して「自分の行動には責任がともなうこと」をきちんと話している。
- 自分の子どもだけ良ければという考えはしていない。
- 思春期の子どもから逃げずに正面から向かい合っている。
- どんな小さな変化でも、子どもの言動を見逃さないように注意している。
- 身の回りの小さなことから、命や環境を大切にする心を育てている。

《思いやりのある子どもを育てるポイント》

- 家庭で生活の決まりやルールをつくっている。
- 低学年から小さくとも家事を担わせ、責任や自立心を育てている。
- 朝の「おはよう」からはじめて、礼儀を身につけさせている。
- 子どもに我慢を覚えさせている。
→物の買い与えずは、子どもの心をゆがめる。
- 家庭内の年中行事や雑事を大切にしている。



【萬歳小 歳時記】

8月18日(土) 旭市小中学校 PTA バレーボール大会



萬歳小チームは豊畑小チーム相手に善戦しましたが惜敗。チームワークのよさと最後まで頑張った姿が光りました。お疲れ様でした。